

岐阜県山県市 「若者世代の移住・定住と女性の活躍を目指す」

- 山県市は、人口減少率が岐阜市に隣接する8市3町の平均と比較して群を抜いて高い値であり、また合計特殊出生率が県内最小値であることから、喫緊の課題である人口減少の要因を特定し、政策展開を図るために分析。
- RESASのデータより、若者の就職時・結婚時の転出が、未婚率の上昇と合計特殊出生率の低下を招き、人口減少が進展していることを確認。若者の就職や結婚時の転出を抑制し、移住・定住を促進するとともに、山県市内の働く場所の魅力向上や対外的な認知度と市民の愛着度を向上させる施策について意見交換を実施。

実施概要

日時：平成29年12月20日（水）

会場：山県市役所3階大会議室

テーマ：「若者世代の移住・定住と女性の活躍を目指す」

参加者：20名（山県市職員、地域企業、商工会、金融機関系シンクタンク等） ※聴衆を含む80名で開催

有識者：中央大学 教授 細野 助博氏

使用したRESASのデータ：

人口マップ、生産分析、全産業の構造 等

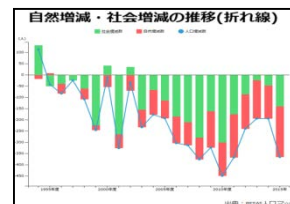
その他利用したデータ：厚生労働省「人口動態調査」

岐阜県「岐阜県人口動態統計調査結果」

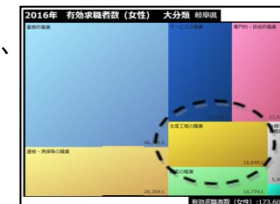
山県市「女性の活躍に関する市民意識調査」

現状分析：若者の就職・結婚時の市外への転出と女性の働き方のミスマッチ

- 若い男性の職業上の転出と、結婚等による若い女性の転出が「人口の社会減」を生み、その結果、市内の若い女性の未婚率の上昇と合計特殊出生率の低下による「人口の自然減」を生み出している。
- 「金属製品製造業」及び「プラスチック製品製造業」が市の主要産業。
- 市内で就職する女性が少ない原因として、再就職希望の女性が望む仕事内容等の条件と、製造業の雇用条件等が適合していないとの調査結果。



人口減少の要因特定のため、「人口の増減」を分析。社会動態と自然動態の両方が減少している。特に自然減が加速化。



女性の求める職種を把握するため、女性の「有効求職者数」を分析。製造業に多い「生産工程の職業」より「事務的作業」に需要があることがわかる。

施策提案：働く場所の魅力と山県市民への認知度・愛着度向上に向けて

- 市の子育て支援施策の内容の豊富さ等を、他市町村の施策と比較することで効果的・積極的に発信し、市民3万人総発信社会を構築する。
- 地域未来投資促進法を活用して、技術連携の場の設定や先端技術導入や設備投資の支援等を行い、企業のチャレンジを後押しする。



有識者による説明の様子



意見交換の様子